

## 慢性硬膜下血腫に対する中硬膜動脈塞栓術後の血腫消退と

### 血中炎症マーカー-leucine-rich alpha-2 glycoprotein (LRG)発現の関連性の検証

#### 1. 研究の対象

岩手医科大学附属病院および共同研究機関で、研究実施許可日～2026年3月31日の間に慢性硬膜下血腫と診断され中硬膜動脈塞栓術を受ける患者さんと、外科治療のみの対照群として、すでに進められている研究（MH2022-173：慢性硬膜下血腫における leucine-rich alpha-2 glycoprotein を用いた再発予測因子の検証）に参加した患者さん。

#### 2. 情報公開の目的

本研究の対照群については進行中の研究（MH2022-173：慢性硬膜下血腫における leucine-rich alpha-2 glycoprotein を用いた再発予測因子の検証）に関わる診療情報を用いるものであり、侵襲や介入を伴わないため、同意文書を用いた説明を行いません。そのため、人を対象とした生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則って情報公開することで、対象者が研究協力を拒否する機会を保障されることが目的です。

#### 3. 研究期間

患者登録期間：研究実施許可日～2026年3月31日

解析期間：研究実施許可日～2027年3月31日

#### 4. 研究目的・方法

本研究では慢性硬膜下血腫に対する中硬膜動脈塞栓術前後に患者より採取した血清を用いて LRG を含めた既知の炎症性マーカーを網羅的に解析し、中硬膜動脈塞栓術後の血腫消退との関連を検証します。そしてこれらの解析結果を外科治療のみの対照群と比較検証します。

#### 5. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：術前後の一般採血で余った血清（中硬膜動脈塞栓術を受ける患者さんのみ）

情報：採血データや病歴など（中硬膜動脈塞栓術を受ける患者さん及び対照群）

#### 6. 研究費および利益相反

本研究は岩手医科大学脳神経外科学講座の講座研究費と科学研究費（課題番号：21K09108（脳主幹動脈閉塞病変による慢性脳虚血における脳温度上昇と脳脊髄液動態との関連の解

明) および課題番号 : 21K09157 ( 脳梗塞慢性期における血行再建術後のアミロイド排出と  
大脳白質微細構造変化の関係 )) で実施します。また、本研究の研究者は岩手医科大学の規  
定に従って、利益相反マネジメント委員会の審査と承認を得るものとします。また参加の見  
返りとしての謝礼は考慮しません。研究統括責任者、研究代表者、研究分担者は本研究に関  
する企業等から個人的及び大学組織的な利益を得ておらず、開示すべき利益相反はありま  
せん。

## 7 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研  
究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

なお、ご自分の検体を研究に使用することを拒否される場合も遠慮なくご連絡ください。

研究責任者 : 小笠原 邦昭

岩手医科大学医学部脳神経外科学講座

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通 2 丁目 1-1

TEL : 019-613-7111 (内線 2018)

E-mail : [kuogasa@iwate-med.ac.jp](mailto:kuogasa@iwate-med.ac.jp)

FAX : 019-907-7060

問い合わせ窓口 :

赤松 洋祐

岩手医科大学脳神経外科学講座

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目 1 番 1 号

TEL : 019-613-7111 (内線 6422)

E-mail : [akamatsu@iwate-med.ac.jp](mailto:akamatsu@iwate-med.ac.jp)

FAX : 019-907-706